

# 湊小学校だより

令和3年2月19日

白山市立湊小学校

## 「後期(12月)学校アンケート」結果をご報告いたします

12月には「後期学校アンケート」にご協力いただき、ありがとうございました。

アンケートの結果から見てきた、本校の取り組みの成果や課題・改善策等についてお知らせいたします。2月4日に第2回学校関係者評価委員(学校評議員、及び育友会、地域、保育園、中学校の代表者で構成)を開き、ご意見・ご助言をいただきました。

### 【平均値】

A あてはまる	: 4点
B どちらかというにあてはまる	: 3点
C どちらかというにあてはまらない	: 2点
D あてはまらない	: 1点

令和2年度後期期 湊小学校友だちアンケート	子ども達	後期 平均値	前期	後期 平均値	前期	保護者
	学校が楽しい。	3.66	3.71	3.75	3.71	お子さんは、楽しく学校に通っている。

前期と同様に「学校が楽しい」と感じている子ども達が非常に多く、AまたはBと回答した子ども達が94.7%でした。一方でCやDとした子がいることは重く受け止めています。楽しいと思えない原因を探って支援していくとともに、一人ひとりを大切にしながら全員がAになるよう努めていきます。



〈クリスマスコンサート〉

### 【改善策】

- 学校アンケートの結果や、毎月実施している「友だちアンケート」等の各種調査や日頃の行動観察等から学校全体の実態を把握して課題を見出し、丁寧に対応したり改善策を講じたりしていきます。
- コロナ禍で制限されることも多いのですが、行事や活動の内容や方法を工夫しながら、満足感や達成感を味わえるようにしていきます。

## (2) 学び合う子

令和2年度後期 湊小学校友だちアンケート	子ども達	後期 平均値	前期	後期 平均値	前期	保護者
基礎学力の定着	わたしは、毎日家で「学年×10分」勉強している。 (1年生は20分)	3.51	3.58	3.18	3.18	お子さんは、毎日家で「学年×10分」勉強している。 (1年生は20分)
考える力 表現する力	自分の思いや考えが相手にしっかり伝わるように、文や図や表、グラフなどを使っている。	3.61	3.53	3.01	2.90	お子さんは、自分の考えや学んだことをしっかりノートに書いている。

家庭学習についても、A・Bとした子が90.4%いました。授業で学習したことをしっかり定着させるために、家庭学習は欠かせません。そこで、家庭学習の目標時間を「学年×10分以上(1年生は20分以上)」に設定しています。家庭学習の課題(宿題)の量や質を吟味したり個別に声掛けをしたりすることにより、全体的に子ども達の意識も向上しているように感じています。またご家庭での声掛けも大

変有効です。今後もよろしくお願いいたします。

本校の子ども達の課題の一つに、自分の考えを筋道立ててわかりやすく説明する力が挙げられます。自分の考えを書いたり話したりするときの相手意識は高まり、説明をする際に図や表、グラフなどを用いることにも慣れつつあります。しかしまだ個人差が大きいので、全体の力の底上げを図っていきます。



〈自分の考えをしっかりとって伝えよう〉

【改善策】

- 全員が宿題をきちんと提出する、家庭でも意欲をもってじっくり取り組むことを目標に、より丁寧に支援・指導を継続していきます。また進級・進学に向けて、課題の質や量を吟味し、既習の定着を図ります。
- ノートは、自分の考えを整理して「わかりやすく」書くことを意識させます。また、上手に説明できている子の発言やノートを「モデル」として紹介し、目指す姿のイメージをしっかりと持たせることで意欲の向上も図ります。
- 教職員の授業力向上のため、授業改善・研修会を充実させます。

(3) 助け合う子

令和2年度後期 湊小学校友だちアンケート	子ども達	後期 平均値	前期	後期 平均値	前期	保護者
挨拶	わたしは、いつでも・どこでも・だれとでも進んで挨拶している	3.73	3.64	3.28	3.26	お子さんは、きちんと挨拶している。
規範意識	わたしは、授業前に準備をし、チャイムスタートできている。	3.64	3.50			
思いやり	わたしは、友だちに対して思いやりの心で行動している	3.66	3.59	3.43	3.40	お子さんは、友だちに対して思いやりの心で行動している。

挨拶については、今年度は「いつでも・どこでも・だれとでも」を合言葉に、元気な挨拶を推進しています。子ども達の自己評価はA・Bが96.1%と大変高いのですが、学年差や個人差が目立ちます。低学年に大きな声が出る子が多いのですが、全体的に挨拶の声は小さく、いまだ見守り隊や来校者に進んで挨拶できる子は限られています。もっと元気な挨拶が飛び交う学校を目指していきたいと思っています。

今年度は、昨年度よりハードルを高くして「チャイムと同時に授業をスタートさせる」ことを目指しています。授業終了時の礼のあとに「着席」の号令を入れ、次の授業の準備を確実にしてから休み時間に入るよう徹底することにもすっかり慣れてきました。また感染症対策で授業前に手洗いをする事になっているのですが、予鈴（以前より少し早く鳴ります）を聞くとサッと切り替えて行動できています。

日頃の学校生活において相手の立場に立って考えることの大切さに気付かせる指導・支援に加え、児童会・企画委員会の「ありがとう・あいさつの取り組み」で「思いやり」の気持ちを可視化したことは、子ども達の意識を高めるのに大変有効でした。

一方で、子ども達の会話の中で、乱暴な言葉遣いにドキッとさせられることが少なくありません。引き続き指導していく必要があると感じています。

【改善策】

- 児童会を中心に、学校全体で「挨拶」運動の取り組みを継続していきます。また学年ごとに交代で朝の時間帯に玄関前に立って挨拶運動することも計画中です。「挨拶する」「挨拶される」両方の立場を意識させ、互いに元気な挨拶を交わすことのよさにも気づかせていきたいと考えています。
- 相手を思いやる言動について、一人ひとりがじっくりふり返ったり皆で話し合ったりする場を大切にしながら指導を重ねていきます。

#### (4) 鍛え合う子

令和2年度後期 湊小学校友だちアンケート	子ども達	後期 平均値	前期	後期 平均値	前期	保護者
主体性	わたしは、学活、学校行事やたて割り活動で、進んで他の学年やいろいろな友だちと関わり合ったり協力したりしている。	3.66	3.67	3.53	3.38	お子さんは、学校行事やたて割り活動で、他の学年やいろいろな友だちと関わり合ったり協力したりしている。
体力づくり	わたしは、体育の時間やその他の時間に、からだをよく動かしている。	3.75	3.63	3.39	3.51	お子さんは、運動したりからだを動かしたりして遊んでいる。



〈小舞子海岸清掃 ～縦割り活動～〉

制限されることはたくさんありますが、そんな中でも内容や方法を工夫しながら縦割りで活動する機会を増やしてきました。クラスだけでなく異学年の友だちと関わり合う中でも、協力したり積極的に関わり合ったりする姿も多く見られるようになってきました。

感染症対策で休み時間に運動場や体育館を使用できる人数が制限され、思い切り体を動かして遊べる時間は半減しています。それをカバーするために、体育の授業でいろいろな運動に取り組みせたり、「湊っ子レース」や「持久走記録会」「長なわ大会」を工夫して行ったりして、体力づくりの機会をつくってきました。

#### 【改善策】

- ・縦割り活動については、今年度の経験を生かし、子ども達が自ら対策を考えながら進んで活動できる場をできるだけ多く与えていきます。
- ・感染予防を徹底したうえで、引き続き運動したり体を動かしたりする機会をなるべく多くつくっていきます。

#### (5) いじめ等に対する対応

令和2年度後期 湊小学校友だちアンケート	子ども達	後期 平均値	前期	後期 平均値	前期	保護者
	いじめなど困ったことや心配なことがあるときには、先生に相談することができる。	3.33	3.22	3.39	3.43	お子さんのことで、いじめなど困ったことや心配なことがあるときには、学校に相談することができる。

子ども達の84.9%がA・Bとしていますが、D・Cとした子が15.1%いました。いじめ等への対応について、100%Aを目指していきます。子どもには毎月の「友だちアンケート」（記名・無記名）を実施するとともに、学期に1度以上の担任による子ども達全員への相談（面談）も継続して行っています。

#### 【改善策】

- ・D・Cとした子ども達については、現状を把握・分析して原因を探るとともに、改善策を検討して取り組んでいます。また、日頃から「わかる授業」を基盤として「温かく安心できる」学校・学級づくりに努めます。
- ・子ども達が悩みを気軽に相談できる環境づくりによりいっそう努めます。また、日々の学校生活の中でアンテナを高くし、いじめの未然防止・早期発見に努めていきます。また問題が発生した場合は、学校全体で早期解決に努めます。

## 「第2回学校関係者評価委員会」でいただいたご意見・ご助言を紹介します

- ・授業の様子を参観した。子ども達が真剣に考えたり活動したりしていて頑張っている様子がうかがえた。全体的に落ち着いていて安心した。
- ・「下校後は、宿題を済ませてから遊ぶ」意識が定着している。地域がらか？ よい傾向である。
- ・子ども達からの元気な挨拶は、地域の皆を元気にしてくれる。ときには、子どもから自発的に挨拶してくるのを待つ姿勢も大切である。挨拶については、学校だけでなく家庭や地域みんなで育てていく必要がある。また積み重ねも大切である。
- ・マスクをしていることで弊害がある（声が聞き取りにくい。表情がわかりづらい…等）ので、それらをカバーする工夫が必要である。
- ・身体の面でも心の面でも、「免疫」を高めることが大切である。
- ・子ども達に、地域を大切に思う気持ちを育てほしい。また、地域・家庭が連携して子ども達を見守ることも大切である。地域の協力が必要なら、喜んで協力したい。
- ・感染症対策のため、中止になったり縮小されてしまったりと制限されることが多く大変ではあるが、子ども達に「創意・工夫させることができる」と考えることもできる。これまでの「当たり前」が当たり前ではないことに気付かせるとともに、「考えるチャンス」と前向きに捉えさせたい。
- ・GIGAスクール構想で一人1台のタブレットを持つことになり、新しい社会の流れに対応する力を身につけることが必要になってくる。
- ・インターネットやSNS等で、簡単にたくさんの情報を得られるようになった。知識や技術を教えるとともに、モラル教育も大変重要になってくる。また、実際に見たり聞いたりして学ぶ機会も大切にしてほしい。

皆様からいただいた貴重なご意見・ご助言を参考にさせていただきながら、今後も改善に取り組んでいきます。



〈5・6年 自然体験学習〉



〈3・4年 秋の校外学習 ～湊町たんけん～〉



〈1・2年 おもちゃランド〉



〈持久走記録会〉



〈雪あそび〉



〈クラブ活動〉



〈5年 スキー教室〉



〈雪かき〉